

2019年度鹿児島県高校総合体育大会は、10月の駅伝を除き、7日で全日程を終了した。全国大会や九州大会へ進めるのはほんの一握り。大半の3年生はこの大会を最後に部活動を終える。全力を出し切り充実した笑顔、結果を残せずあふれる悔し涙。会場ではさまざまな表情が見られた。集大成の舞台で敗れ、ラストゲームとなった3年生の声を紹介する。

ラストゲームの声

福山・妹尾霞佑(ソフトテニス女子)「小さい頃から右腕と右脚が不自由。中学は卓球、ソフトテニスは高校から。もう1人の3年・庄田どのペアで頑張れた。いつもよりサーブが入って今までで一番いい試合ができた」